

就職活動状況レポート（2015年卒）

— 2014年7月度 —

【就職活動中の大学生の活動状況(6月中)】

- 1) 各活動の実施率は、「面接など対面での選考を受けた」「適性検査や筆記試験を受けた」「エントリーシートなどの書類を提出した」「企業にエントリー（資料・情報の請求）をした」「個別企業の説明会・セミナーのうち、対面（社内、会場など）で開催されるものに参加した」が高かった。前年同月と比較し減少幅が最も大きい活動は、「個別企業の説明会・セミナーのうち、対面（社内、会場など）で開催されるものに参加した」であった。

<P.3>

【就職活動中の大学生の志向(7月1日時点)】

- 1) 志望業種(複数回答)は、「官公庁」が最も高かった。前年同月と比較すると、「官公庁」が増加した。
<P.8>
- 2) 志望職種(複数回答)は、「事務・スタッフ関連職」「営業関連職」が高かった。前年同月と比較すると、減少幅が大きかった職種は「営業関連職」だった。
<P.10>
- 3) 志望する企業規模(複数回答)は、「まだ志望する企業規模が決まっていない」が最も高く、次いで「300人～999人」が高かった。前年同月と比較すると、「まだ志望する企業規模が決まっていない」の減少幅が最も大きかった。
<P.11>
- 4) 希望する勤務地(複数回答)は、「東京都」が最も高かった。前年同月と比較すると、多少増減している地域がみられるものの、ほぼ同傾向であった。
<P.12>
- 5) 志望企業等を選ぶときに重視した条件(複数回答)は、「勤務地」「職種」が高かった。前年同月と比較すると、「給与水準」「勤務時間・休暇」が増加した一方で、「業種」「職種」が減少した。
<P.14>
- 6) 就職先を選んだときに重視した条件(就職先確定者/複数回答)は、「業種」「職種」が高かった。前年同月と比較すると、多少増減がみられるものの、ほぼ同傾向であった。
<P.15>

【目次】

目次・調査概要	2
Ⅰ 就職活動中の大学生の活動状況(6月中)	
1) 各活動の実施率	3
2) 実施した活動の量	4
Ⅱ 就職活動中の大学生の志向(7月1日時点)	
1) 志望業種	8
2) 志望職種	10
3) 志望する企業規模	11
4) 希望する勤務地	12
5) 志望企業等を選ぶときに重視した条件	14
6) 就職先を選んだときに重視した条件【就職先確定者】	15
Ⅲ 学生の声	
卒業後の進路や就職活動などについて感じていること、考えていること	16

※内定取得の状況については、プレスリリース資料をご覧ください。

【調査概要】

調査目的：大学生における就職活動の実態を把握する

調査方法：インターネット調査

調査対象：リクナビ2015(※1)会員の大学生および大学院生から調査モニターを募集し、モニターに登録した2015年卒業予定の男女7,320人（うち、大学生5,969人/大学院生1,351人）

※1 リクナビ：株式会社リクルートキャリアが運営している、就職活動を支援するサイト
<http://job.rikunabi.com/2015/>

調査期間、および集計対象数：ⅠおよびⅡ1)～5)は7月1日時点で就職活動を実施中の大学生、Ⅱ6)は7月1日時点で就職先が確定した大学生を集計対象とした

		調査期間		集計対象数※2 (大学生)
2014年	3月	2014年3月2日	～ 2014年3月10日	2,521名
	4月	2014年4月2日	～ 2014年4月9日	2,101名
	5月	2014年5月2日	～ 2014年5月12日	1,884名
	6月	2014年6月2日	～ 2014年6月10日	1,612名
	7月	2014年7月2日	～ 2014年7月10日	1,500名

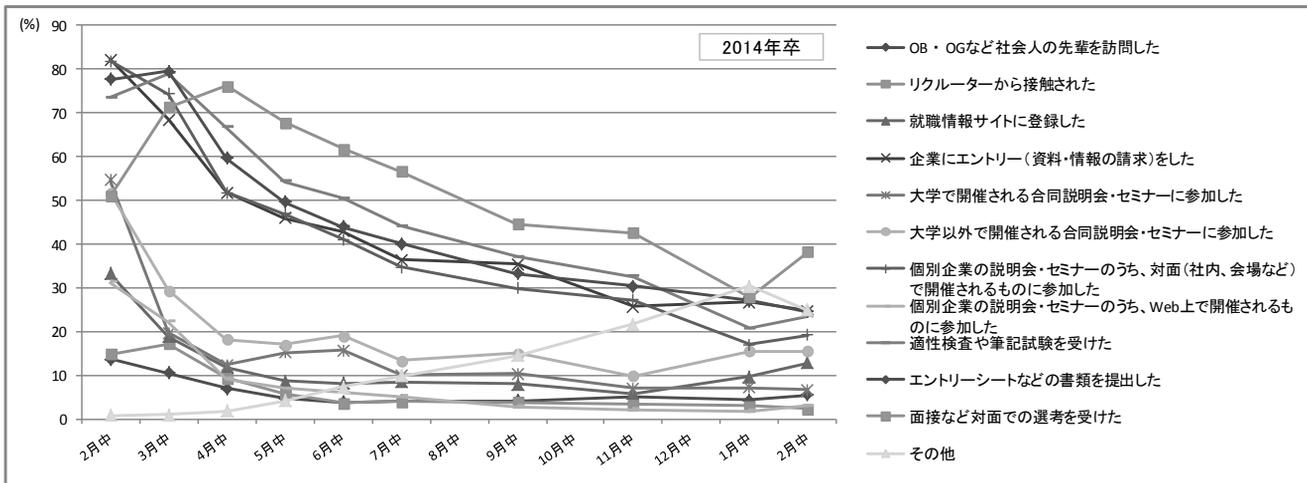
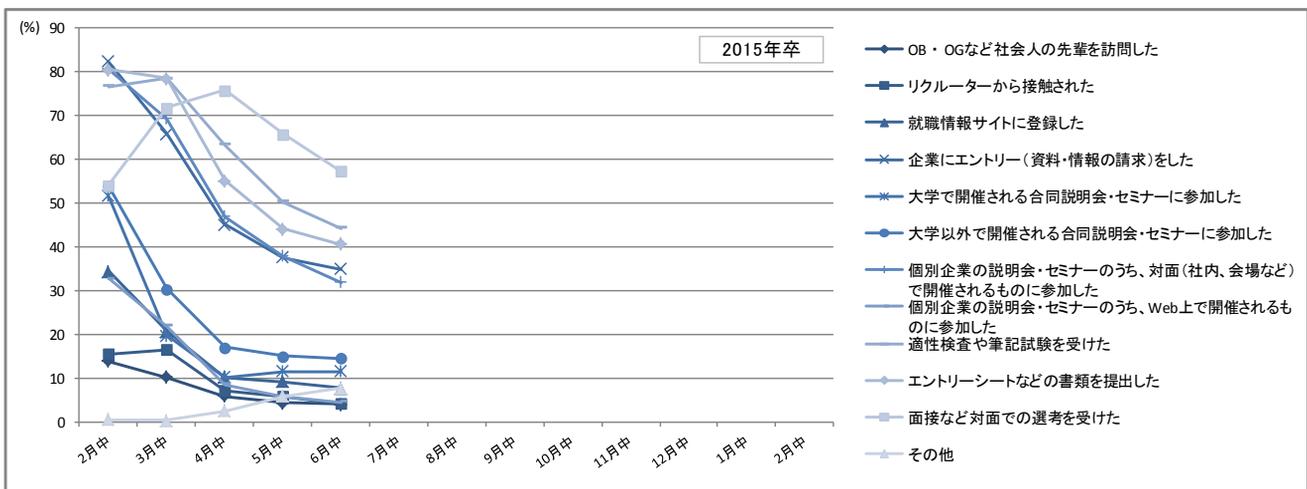
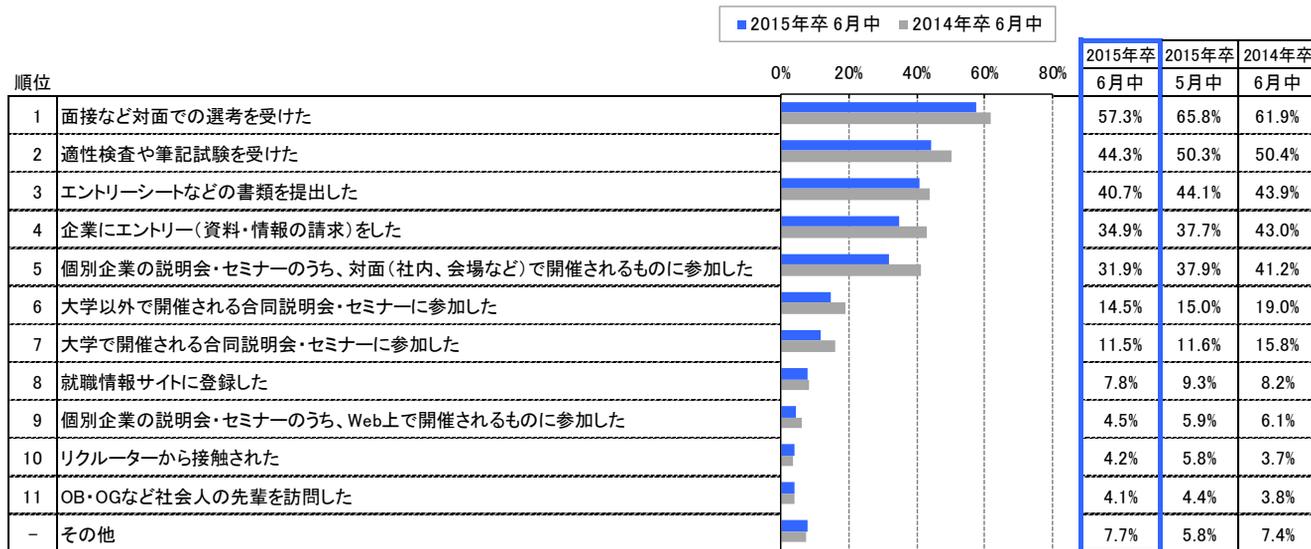
※2 性別、専攻、所属大学の設置主体について、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「平成25年度学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

1) 各活動の実施率（6月中）

I 学生の活動

6月に就職活動をした学生の各活動の実施率は、「面接など対面での選考を受けた」「適性検査や筆記試験を受けた」「エントリーシートなどの書類を提出した」「企業にエントリー（資料・情報の請求）をした」「個別企業の説明会・セミナーのうち、対面（社内、会場など）で開催されるものに参加した」が高かった。前年同月と比較し減少幅が最も大きい活動は、「個別企業の説明会・セミナーのうち、対面（社内、会場など）で開催されるものに参加した」であった。

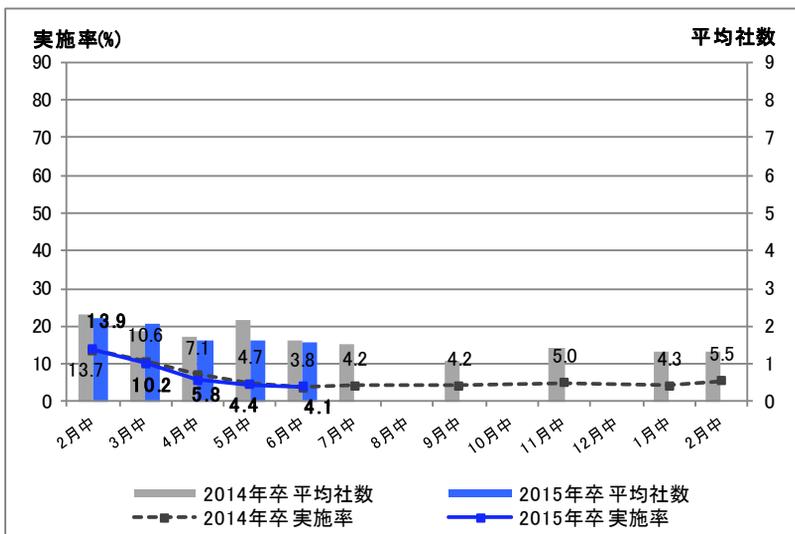
Q. 6月中の1ヶ月間に、実施した活動をすべてお答えください（就職活動実施者／複数回答）



2) -1 実施した活動の量（6月中）

I 学生の活動

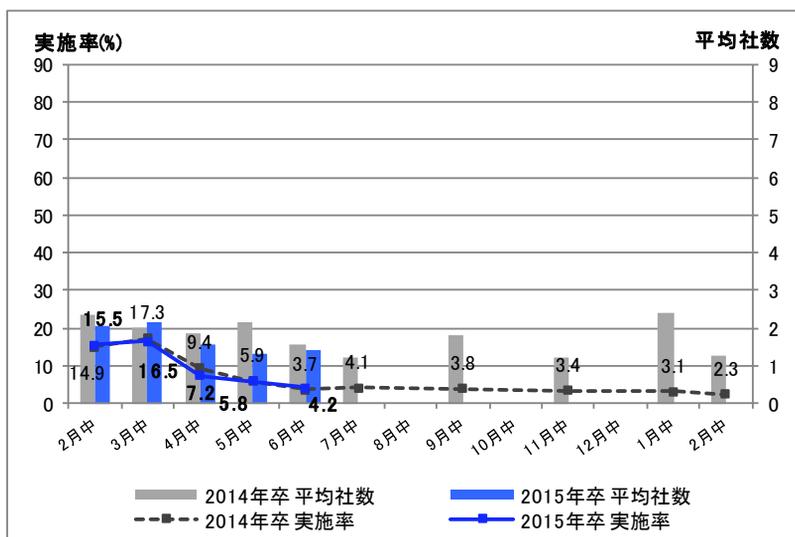
Q. OB・OGなど社会人の先輩を訪問した（左記活動実施者）



社数	2015年卒 6月中	2015年卒 5月中	2014年卒 6月中
1社	74.0%	74.3%	63.7%
2社	8.9%	11.4%	25.5%
3社	8.9%	8.2%	3.6%
4社	1.8%	-	1.9%
5社	6.4%	4.2%	3.6%
6社以上	-	1.9%	1.7%
平均	1.58	1.62	1.64
前回差	-0.04		
前年同月差	-0.06		

人数	2015年卒 6月中	2015年卒 5月中	2014年卒 6月中
1人	44.9%	55.0%	53.3%
2~4人	43.1%	28.2%	33.5%
5~9人	12.0%	14.8%	10.5%
10人以上	-	1.9%	2.7%
平均	2.18	2.26	2.28
前回差	-0.08		
前年同月差	-0.10		

Q. リクルーターから接触された（左記活動実施者）



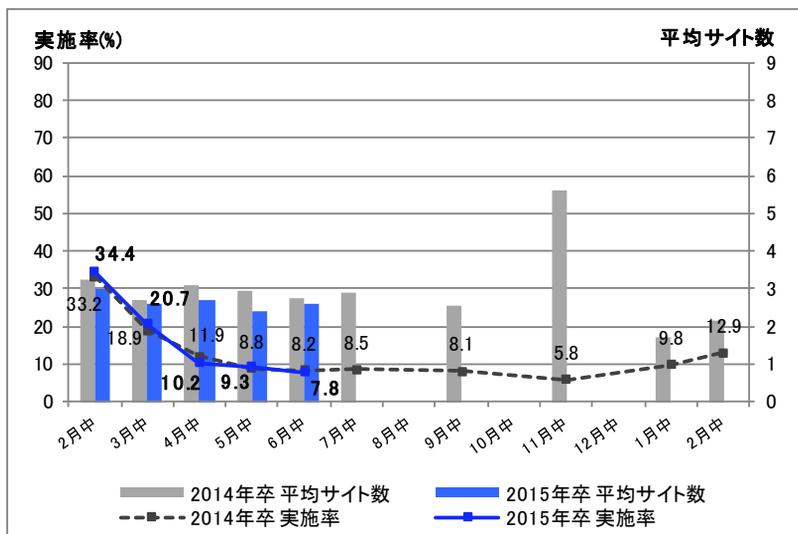
社数	2015年卒 6月中	2015年卒 5月中	2014年卒 6月中
1社	71.3%	83.0%	63.6%
2社	18.7%	11.3%	24.3%
3社	10.0%	4.8%	8.3%
4社	-	-	1.0%
5社	-	-	2.8%
6社以上	-	0.9%	-
平均	1.39	1.29	1.55
前回差	0.10		
前年同月差	-0.16		

人数	2015年卒 6月中	2015年卒 5月中	2014年卒 6月中
1人	57.6%	74.7%	55.0%
2~4人	42.4%	22.8%	34.0%
5~9人	-	1.6%	9.0%
10人以上	-	0.9%	2.0%
平均	1.59	1.46	1.96
前回差	0.13		
前年同月差	-0.37		

2) -2 実施した活動の量（6月中）

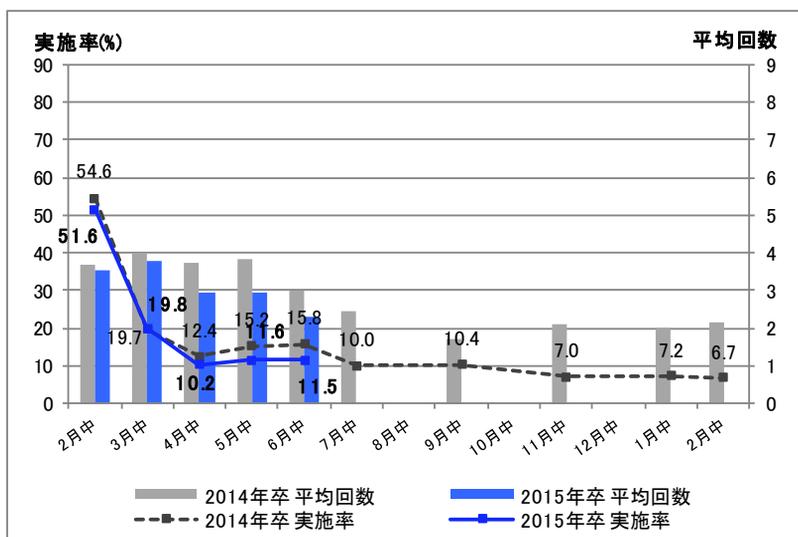
I 学生の活動

Q. 就職情報サイトに登録した（左記活動実施者）



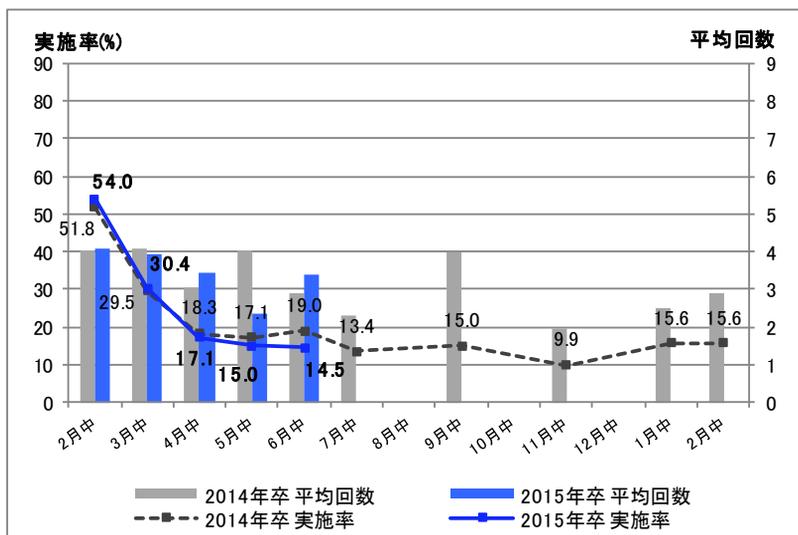
サイト数	2015年卒 6月中	2015年卒 5月中	2014年卒 6月中
1サイト	35.4%	45.8%	50.1%
2サイト	25.1%	18.0%	14.0%
3サイト	14.5%	14.0%	12.2%
4サイト	5.1%	8.6%	10.7%
5サイト	16.6%	7.1%	3.8%
6サイト以上	3.3%	6.5%	9.2%
平均	2.58	2.41	2.73
前回差	0.17		
前年同月差	-0.15		

Q. 大学で開催される合同説明会・セミナーに参加した（左記活動実施者）



回数	2015年卒 6月中	2015年卒 5月中	2014年卒 6月中
1回	52.8%	54.8%	49.8%
2~4回	36.6%	26.8%	35.1%
5~9回	6.5%	13.6%	10.5%
10回以上	4.1%	4.8%	4.6%
平均	2.29	2.96	3.00
前回差	-0.67		
前年同月差	-0.71		

Q. 大学以外で開催される合同説明会・セミナーに参加した（左記活動実施者）

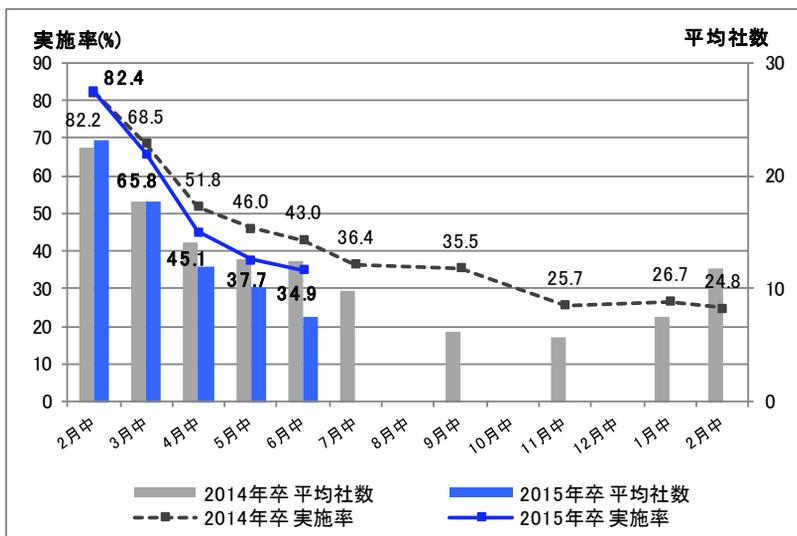


回数	2015年卒 6月中	2015年卒 5月中	2014年卒 6月中
1回	53.1%	60.6%	49.1%
2~4回	29.8%	26.7%	33.7%
5~9回	9.4%	7.1%	10.3%
10回以上	7.7%	5.6%	6.9%
平均	3.37	2.35	2.89
前回差	1.02		
前年同月差	0.48		

2) -3 実施した活動の量（6月中）

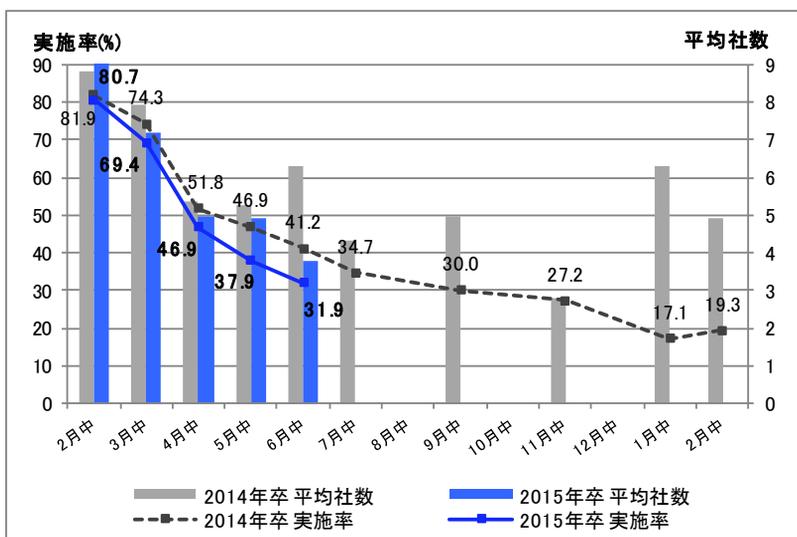
I 学生の活動

Q. 企業にエントリー（資料・情報の請求）をした（左記活動実施者）



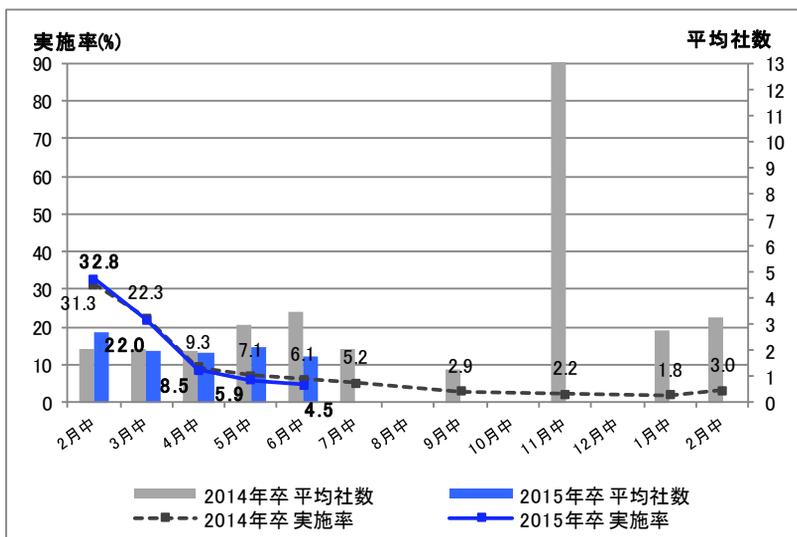
社数	2015年卒 6月中	2015年卒 5月中	2014年卒 6月中
1社	21.9%	13.0%	11.8%
2~4社	36.4%	31.7%	30.3%
5~9社	20.5%	28.7%	27.5%
10~19社	14.2%	12.7%	17.3%
20~29社	2.2%	5.9%	4.9%
30~39社	1.2%	2.1%	1.2%
40社以上	3.6%	5.8%	7.0%
平均	7.58	10.21	12.36
前回差	-2.63		
前年同月差	-4.78		

Q. 個別企業の説明会・セミナー（対面開催）に参加した（左記活動実施者）



社数	2015年卒 6月中	2015年卒 5月中	2014年卒 6月中
1社	27.8%	25.4%	21.3%
2~4社	46.6%	40.9%	43.5%
5~9社	17.7%	24.1%	21.5%
10社以上	7.9%	9.7%	13.7%
平均	3.77	4.92	6.30
前回差	-1.15		
前年同月差	-2.53		

Q. 個別企業の説明会・セミナー（Web開催）に参加した（左記活動実施者）

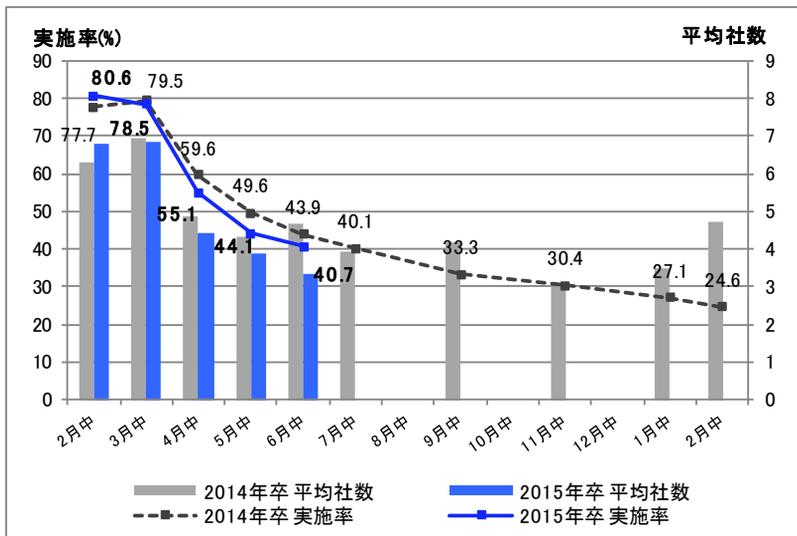


社数	2015年卒 6月中	2015年卒 5月中	2014年卒 6月中
1社	76.9%	66.8%	65.0%
2社	6.3%	14.8%	13.8%
3社	7.7%	3.9%	10.1%
4社	-	2.5%	-
5社	6.0%	6.2%	4.1%
6社以上	3.2%	5.7%	7.1%
平均	1.74	2.12	3.46
前回差	-0.38		
前年同月差	-1.72		

2) -4 実施した活動の量（6月中）

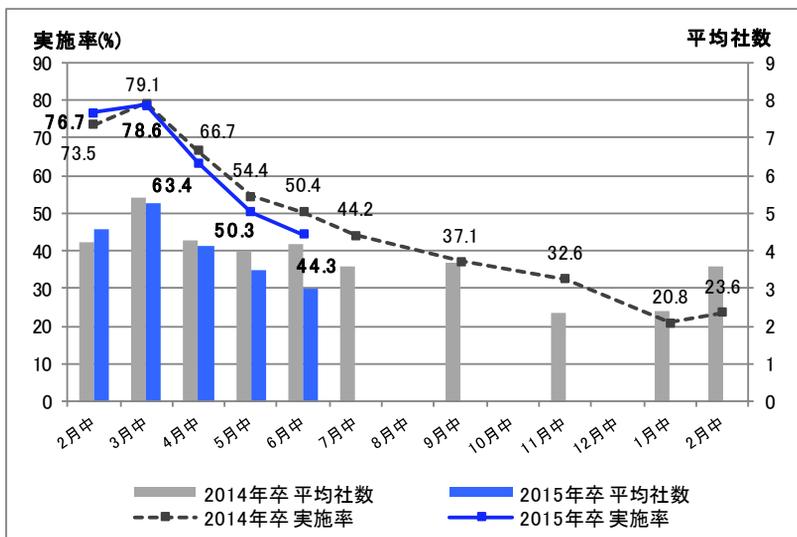
I 学生の活動

Q. エントリーシートなどの書類を提出した（左記活動実施者）



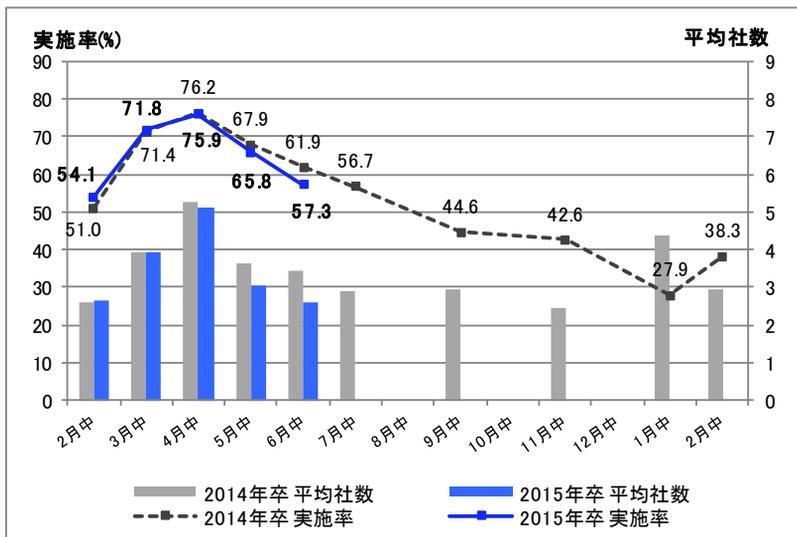
社数	2015年卒 6月中	2015年卒 5月中	2014年卒 6月中
1社	31.6%	30.5%	29.0%
2~4社	48.2%	47.4%	47.9%
5~9社	14.0%	15.5%	13.9%
10社以上	6.1%	6.7%	9.2%
平均	3.33	3.88	4.68
前回差	-0.55		
前年同月差	-1.35		

Q. 適性検査や筆記試験を受けた（左記活動実施者）



社数	2015年卒 6月中	2015年卒 5月中	2014年卒 6月中
1社	33.5%	32.2%	25.6%
2~4社	50.5%	52.6%	53.9%
5~9社	11.9%	9.1%	12.0%
10社以上	4.1%	6.0%	8.5%
平均	3.00	3.49	4.17
前回差	-0.49		
前年同月差	-1.17		

Q. 面接など対面での選考を受けた（左記活動実施者）



社数	2015年卒 6月中	2015年卒 5月中	2014年卒 6月中
1社	40.9%	34.2%	33.5%
2~4社	48.1%	47.5%	47.6%
5~9社	8.5%	13.7%	11.4%
10社以上	2.4%	4.6%	7.5%
平均	2.59	3.03	3.46
前回差	-0.44		
前年同月差	-0.87		

1) -1 志望業種（7月1日時点）

II 学生の志向

7月1日時点で就職活動中の学生の志望業種は、「官公庁」が最も高かった。
前年同月と比較すると、「官公庁」が増加した。

Q. 7月1日時点で働くことを志望していた業種（就職活動実施者／複数回答）

■ 2015年卒 7/1時点 ■ 2014年卒 7/1時点

順位		0% 10% 20% 30%			2015年卒	2015年卒	2014年卒
					7/1時点	6/1時点	7/1時点
1	官公庁				16.1%	11.2%	9.4%
2	食品				12.9%	11.0%	13.8%
3	まだ志望する業種が決まっていない				12.4%	11.9%	15.8%
4	情報サービス・調査業				12.1%	12.8%	13.6%
5	商社				11.4%	10.2%	13.7%
6	医療・福祉				9.7%	8.9%	8.8%
7	銀行・信用金庫・信用組合・労働金庫				8.5%	9.0%	10.1%
8	百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・DIY・生活協同組合				7.6%	6.9%	8.2%
9	電機・電子・OA関連・精密機器				7.1%	6.8%	6.9%
9	鉄道・道路旅客運送・海運・航空・その他の運輸業				7.1%	7.5%	5.7%
11	教育・学習支援				6.4%	4.6%	4.7%
12	映像・音声・文字情報制作業				6.2%	5.3%	6.2%
13	各種団体				6.1%	3.3%	4.6%
14	農林・水産・鉱業				6.0%	4.5%	3.3%
15	自動車・鉄道・航空機等製造・同部品製造				5.9%	7.1%	6.9%
15	印刷関連				5.9%	7.2%	5.8%
17	旅館・ホテル・レジャー				4.9%	5.6%	4.4%
18	生命保険・損害保険				4.8%	4.7%	4.2%
18	インターネット付随サービス業				4.8%	7.3%	5.5%
20	機械・プラント・エンジニアリング				4.6%	5.8%	5.9%
21	家電・AV機器・ゲーム機器				4.5%	4.4%	4.4%
22	通信				4.4%	6.0%	4.7%
23	専門店				4.3%	5.2%	6.0%
24	半導体・電子・電気部品				4.0%	3.6%	4.7%
25	精密機械器具製造業				3.8%	2.1%	3.4%
26	建設・工事業				3.6%	3.9%	3.8%
26	医薬品				3.6%	4.8%	5.1%
28	放送業				3.5%	3.7%	3.3%
28	飲食店				3.5%	2.8%	1.6%
30	不動産				3.4%	5.2%	5.4%
31	倉庫業				3.3%	3.8%	2.7%
32	広告代理業				3.1%	5.3%	4.2%
33	化学				2.8%	3.8%	5.1%
34	化粧品				2.7%	3.6%	3.3%
35	証券				2.6%	3.0%	3.2%
36	専門サービス業				2.5%	3.4%	4.1%
37	人材関連				2.4%	3.9%	2.1%
38	鉄鋼・非鉄金属・金属				2.3%	2.8%	4.7%
39	その他の製造業				2.2%	2.0%	3.7%
40	電力・ガス・水道・エネルギー				2.0%	2.9%	3.6%
41	石油・ガラス・ゴム・紙・セラミック				1.9%	2.1%	3.0%
42	繊維				1.8%	2.6%	4.5%
43	旅行業および運輸に付帯するサービス業				1.7%	4.5%	3.4%
44	その他金融				1.6%	2.1%	2.3%
45	その他のサービス業				1.5%	1.6%	2.2%
46	その他の電気機械器具製造業				0.9%	0.8%	1.9%
47	道路貨物運送業				0.8%	1.5%	1.3%
48	物品賃貸業				0.2%	0.3%	0.1%
-	その他				3.5%	2.1%	2.8%

1) -2 志望業種【第1志望】（7月1日時点）

Ⅱ 学生の志向

7月1日時点で就職活動中の学生の第1志望業種は、「官公庁」が最も高かった。
前年同月と比較すると、「官公庁」が増加した。

Q. 7月1日時点で働くことを最も志望していた業種（就職活動実施・志望業種決定者／第1志望）

■ 2015年卒 7/1時点 ■ 2014年卒 7/1時点

順位		0% 5% 10% 15%			2015年卒	2015年卒	2014年卒
					7/1時点	6/1時点	7/1時点
1	官公庁				13.2%	8.8%	7.3%
2	情報サービス・調査業				8.8%	9.3%	9.8%
3	医療・福祉				6.6%	5.4%	5.6%
4	銀行・信用金庫・信用組合・労働金庫				5.3%	5.7%	5.5%
5	食品				5.1%	5.8%	7.3%
6	鉄道・道路旅客運送・海運・航空・その他の運輸業				4.7%	5.1%	3.2%
7	商社				4.6%	3.7%	5.5%
8	自動車・鉄道・航空機等製造・同部品製造				3.7%	3.6%	2.6%
9	農林・水産・鉱業				3.3%	2.1%	1.4%
9	教育・学習支援				3.3%	2.0%	2.6%
11	映像・音声・文字情報制作業				3.2%	1.9%	3.6%
12	百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・DIY・生活協同組合				2.9%	3.5%	3.6%
13	機械・プラント・エンジニアリング				2.6%	2.1%	2.4%
14	専門店				2.2%	2.2%	1.9%
15	各種団体				1.8%	1.0%	1.4%
16	印刷関連				1.7%	1.8%	1.5%
17	電機・電子・OA関連・精密機器				1.6%	2.0%	1.9%
17	放送業				1.6%	1.9%	1.2%
17	旅館・ホテル・レジャー				1.6%	2.0%	2.3%
20	広告代理業				1.5%	1.7%	1.3%
21	医薬品				1.4%	2.6%	1.9%
21	不動産				1.4%	2.6%	2.1%
23	専門サービス業				1.2%	1.5%	2.2%
24	倉庫業				1.1%	0.7%	0.5%
25	化粧品				0.9%	1.1%	0.9%
25	生命保険・損害保険				0.9%	1.1%	1.1%
25	証券				0.9%	0.2%	1.5%
25	通信				0.9%	1.4%	1.3%
25	飲食店				0.9%	0.8%	0.4%
25	人材関連				0.9%	0.8%	0.8%
31	家電・AV機器・ゲーム機器				0.8%	1.3%	1.3%
32	半導体・電子・電気部品				0.7%	0.5%	0.4%
32	精密機械器具製造業				0.7%	0.5%	0.5%
32	インターネット付随サービス業				0.7%	1.4%	1.7%
32	道路貨物運送業				0.7%	0.7%	0.4%
32	その他のサービス業				0.7%	0.7%	0.9%
37	建設・工事業				0.6%	1.4%	1.4%
37	その他金融				0.6%	0.9%	0.6%
39	化学				0.5%	1.0%	1.0%
39	石油・ガラス・ゴム・紙・セラミック				0.5%	0.3%	0.3%
39	その他の製造業				0.5%	0.9%	1.0%
42	電力・ガス・水道・エネルギー				0.4%	1.1%	0.8%
43	繊維				0.3%	0.6%	1.6%
43	旅行業および運輸に付帯するサービス業				0.3%	1.5%	1.6%
45	鉄鋼・非鉄金属・金属				0.2%	0.4%	0.3%
46	その他の電気機械器具製造業				-	0.6%	-
46	物品賃貸業				-	-	-
-	その他				2.2%	1.8%	1.5%

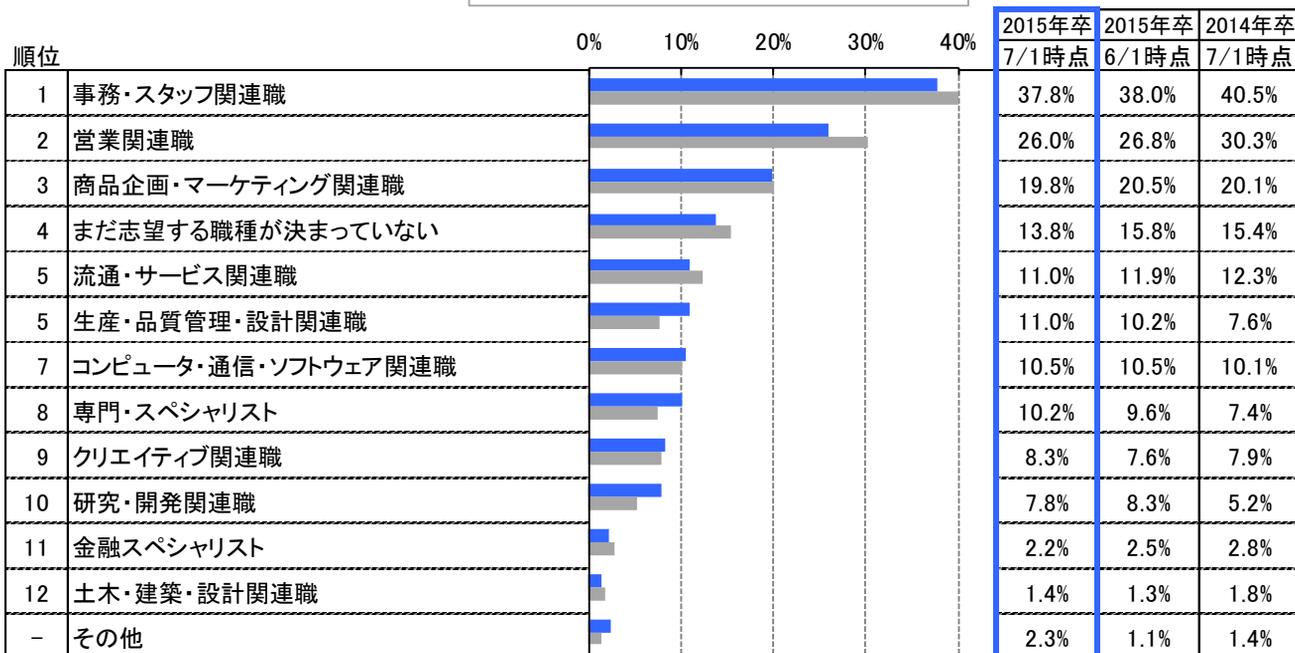
2) 志望職種（7月1日時点）

Ⅱ 学生の志向

7月1日時点で就職活動中の学生の志望職種は、「事務・スタッフ関連職」「営業関連職」が高かった。前年同月と比較すると、減少幅が大きかった職種は「営業関連職」だった。

Q. 7月1日時点で働くことを志望していた職種（就職活動実施者／複数回答）

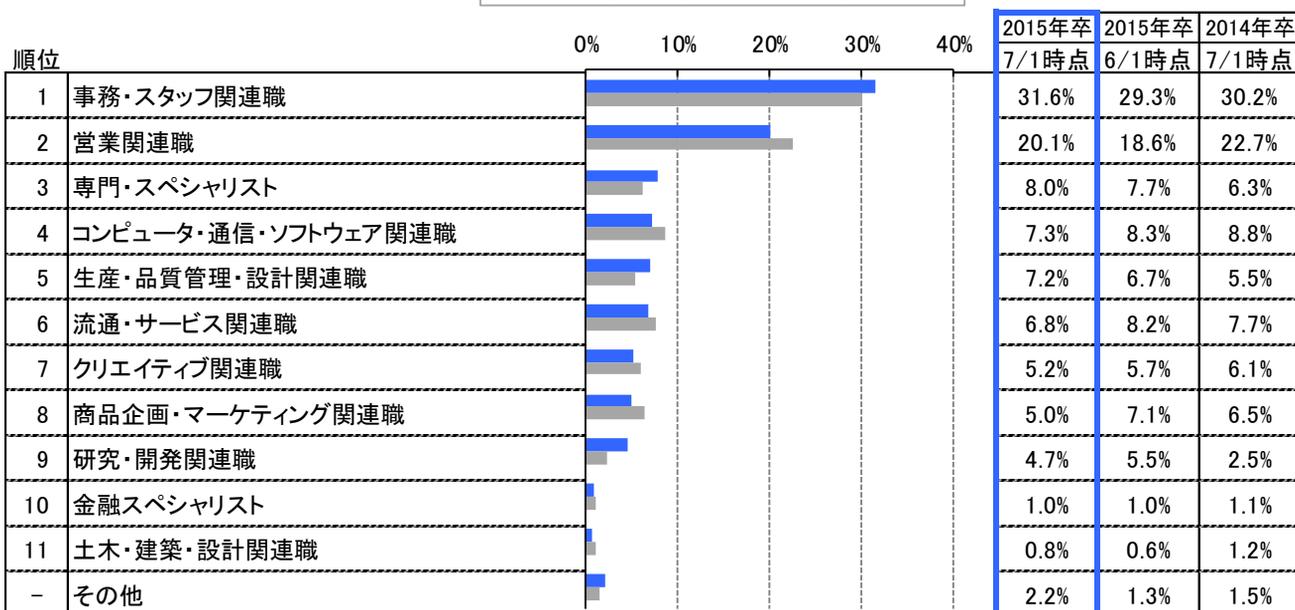
■ 2015年卒 7/1時点 ■ 2014年卒 7/1時点



7月1日時点で就職活動中の学生の第1志望職種は、「事務・スタッフ関連職」「営業関連職」が高かった。前年同月と比較すると、ほぼ同傾向であった。

Q. 7月1日時点で働くことを最も志望していた職種（就職活動実施・志望職種決定者／第1志望）

■ 2015年卒 7/1時点 ■ 2014年卒 7/1時点



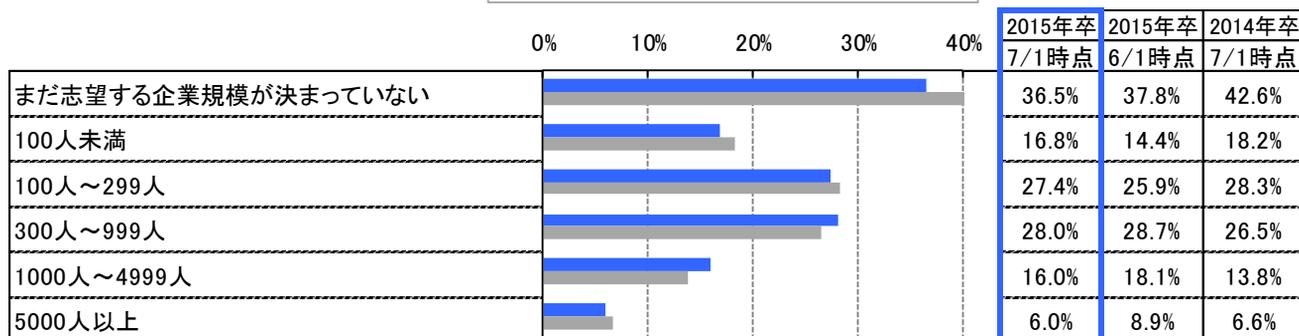
3) 志望する企業規模（7月1日時点）

Ⅱ 学生の志向

7月1日時点で就職活動中の学生の志望企業規模は、「まだ志望する企業規模が決まっていない」が最も高く、次いで「300人～999人」が高かった。
前年同月と比較すると、「まだ志望する企業規模が決まっていない」の減少幅が最も大きかった。

Q. 7月1日時点で働くことを志望していた企業規模（就職活動実施者／複数回答）

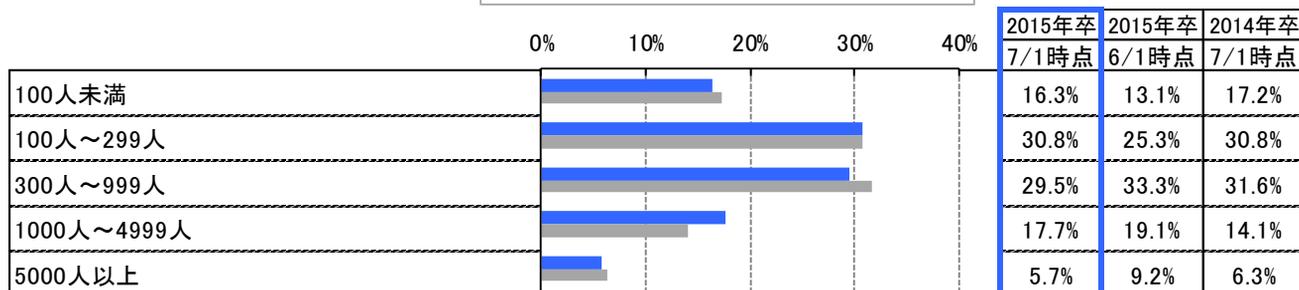
■ 2015年卒 7/1時点 ■ 2014年卒 7/1時点



7月1日時点で就職活動中の学生の第1志望企業規模は、「100人～299人」が最も高かった。
前年同月と比較すると、ほぼ同傾向であったが、その中で「1000人～4999人」の増加幅が大きかった。

Q. 7月1日時点で働くことを最も志望していた企業規模（就職活動実施・志望企業規模決定者／第1志望）

■ 2015年卒 7/1時点 ■ 2014年卒 7/1時点



4) -1 希望する勤務地（7月1日時点）

Ⅱ 学生の志向

7月1日時点で就職活動中の学生の希望勤務地は、「東京都」が最も高かった。
前年同月と比較すると、多少増減している地域がみられるものの、ほぼ同傾向であった。

Q. 7月1日時点で働くことを希望していた勤務地（就職活動実施者／複数回答）

■ 2015年卒 7/1時点 ■ 2014年卒 7/1時点

順位		0% 10% 20% 30% 40%			2015年卒	2015年卒	2014年卒
					7/1時点	6/1時点	7/1時点
1	東京都	32.2%			32.2%	35.7%	35.7%
2	勤務地に希望はない	14.7%			14.7%	13.8%	13.3%
3	神奈川県	14.3%			14.3%	17.2%	16.0%
4	大阪府	13.3%			13.3%	15.8%	16.0%
5	埼玉県	11.0%			11.0%	11.0%	12.8%
6	千葉県	10.5%			10.5%	10.3%	11.2%
7	愛知県	8.0%			8.0%	8.6%	11.0%
8	京都府	7.5%			7.5%	8.5%	7.8%
9	まだ希望する勤務地が決まっていない	6.6%			6.6%	6.1%	5.9%
10	兵庫県	5.6%			5.6%	7.9%	8.7%
11	福岡県	4.7%			4.7%	5.0%	4.7%
12	北海道	3.2%			3.2%	2.7%	3.6%
13	三重県	2.8%			2.8%	2.8%	2.4%
14	栃木県	2.6%			2.6%	2.9%	1.4%
15	新潟県	2.5%			2.5%	2.6%	1.0%
15	静岡県	2.5%			2.5%	2.1%	3.8%
15	滋賀県	2.5%			2.5%	2.8%	2.3%
18	群馬県	2.3%			2.3%	2.4%	2.4%
18	長野県	2.3%			2.3%	1.7%	1.9%
20	茨城県	2.2%			2.2%	3.1%	3.1%
21	石川県	2.1%			2.1%	1.7%	0.7%
21	岐阜県	2.1%			2.1%	2.2%	3.1%
23	広島県	1.9%			1.9%	1.8%	2.8%
24	宮城県	1.7%			1.7%	2.4%	1.9%
25	奈良県	1.6%			1.6%	1.8%	2.0%
26	熊本県	1.5%			1.5%	1.3%	1.4%
27	山形県	1.4%			1.4%	1.2%	0.8%
27	富山県	1.4%			1.4%	0.8%	1.0%
27	愛媛県	1.4%			1.4%	0.9%	1.6%
30	岡山県	1.3%			1.3%	1.9%	2.7%
31	香川県	1.2%			1.2%	1.1%	1.2%
31	長崎県	1.2%			1.2%	1.5%	0.9%
31	鹿児島県	1.2%			1.2%	1.5%	0.8%
34	岩手県	1.0%			1.0%	0.8%	1.1%
35	和歌山県	0.9%			0.9%	0.8%	0.9%
35	沖縄県	0.9%			0.9%	1.2%	0.7%
37	佐賀県	0.7%			0.7%	1.4%	1.1%
38	山梨県	0.6%			0.6%	0.4%	0.4%
38	山口県	0.6%			0.6%	1.1%	0.9%
38	大分県	0.6%			0.6%	0.9%	1.0%
38	宮崎県	0.6%			0.6%	0.9%	0.8%
42	福島県	0.5%			0.5%	0.8%	0.6%
42	海外	0.5%			0.5%	0.8%	1.1%
44	青森県	0.4%			0.4%	0.4%	0.7%
45	秋田県	0.3%			0.3%	0.5%	0.6%
46	福井県	0.2%			0.2%	0.5%	0.4%
46	徳島県	0.2%			0.2%	-	0.8%
48	高知県	0.1%			0.1%	0.1%	0.6%
49	鳥取県	-			-	0.5%	0.3%
49	島根県	-			-	0.4%	0.6%

4) -2 希望する勤務地【第1希望】（7月1日時点）

Ⅱ 学生の志向

7月1日時点で就職活動中の学生の第1希望勤務地は、「東京都」が最も高かった。
前年同月と比較すると、多少増減している地域がみられるものの、ほぼ同傾向であった。

Q. 7月1日時点で働くことを最も希望していた勤務地（就職活動実施・希望勤務地決定者／第1希望）

■ 2015年卒 7/1時点 ■ 2014年卒 7/1時点

順位		0% 10% 20% 30% 40%			2015年卒	2015年卒	2014年卒
					7/1時点	6/1時点	7/1時点
1	東京都	26.1%			26.1%	30.5%	29.8%
2	大阪府	10.7%			10.7%	12.3%	12.1%
3	愛知県	7.8%			7.8%	6.6%	9.5%
4	神奈川県	6.4%			6.4%	6.8%	5.0%
5	福岡県	3.9%			3.9%	3.8%	4.1%
6	北海道	3.7%			3.7%	3.1%	3.8%
7	埼玉県	3.6%			3.6%	2.1%	3.0%
8	京都府	2.9%			2.9%	3.2%	2.9%
9	新潟県	2.4%			2.4%	2.3%	0.8%
10	静岡県	2.2%			2.2%	2.0%	2.7%
11	千葉県	2.0%			2.0%	1.5%	2.1%
12	群馬県	1.8%			1.8%	0.8%	0.9%
12	愛媛県	1.8%			1.8%	1.0%	0.8%
14	石川県	1.7%			1.7%	1.0%	0.3%
15	兵庫県	1.4%			1.4%	3.0%	2.6%
16	山形県	1.3%			1.3%	0.8%	0.2%
16	富山県	1.3%			1.3%	0.8%	0.6%
16	広島県	1.3%			1.3%	0.7%	2.3%
16	長崎県	1.3%			1.3%	1.2%	0.3%
16	熊本県	1.3%			1.3%	0.6%	1.0%
21	長野県	1.2%			1.2%	0.8%	1.8%
21	岡山県	1.2%			1.2%	1.0%	1.8%
21	沖縄県	1.2%			1.2%	1.1%	0.6%
24	宮城県	1.1%			1.1%	1.8%	1.7%
24	栃木県	1.1%			1.1%	1.4%	0.4%
24	岐阜県	1.1%			1.1%	0.7%	1.1%
24	鹿児島県	1.1%			1.1%	0.8%	0.3%
28	香川県	1.0%			1.0%	0.6%	0.5%
29	滋賀県	0.9%			0.9%	0.6%	0.8%
30	茨城県	0.8%			0.8%	1.2%	1.6%
31	岩手県	0.7%			0.7%	-	0.6%
32	宮崎県	0.6%			0.6%	0.4%	0.3%
33	青森県	0.5%			0.5%	0.4%	0.2%
33	三重県	0.5%			0.5%	1.3%	0.7%
33	山口県	0.5%			0.5%	0.7%	0.1%
36	福島県	0.3%			0.3%	0.4%	0.2%
36	佐賀県	0.3%			0.3%	0.3%	0.2%
36	海外	0.3%			0.3%	0.2%	0.4%
39	和歌山県	0.2%			0.2%	0.3%	0.1%
39	徳島県	0.2%			0.2%	-	0.3%
41	福井県	0.1%			0.1%	0.3%	0.1%
41	奈良県	0.1%			0.1%	0.4%	0.4%
41	高知県	0.1%			0.1%	0.1%	0.1%
44	秋田県	-			-	-	0.2%
44	山梨県	-			-	0.2%	0.2%
44	鳥取県	-			-	-	-
44	島根県	-			-	0.5%	0.4%
44	大分県	-			-	0.4%	0.3%

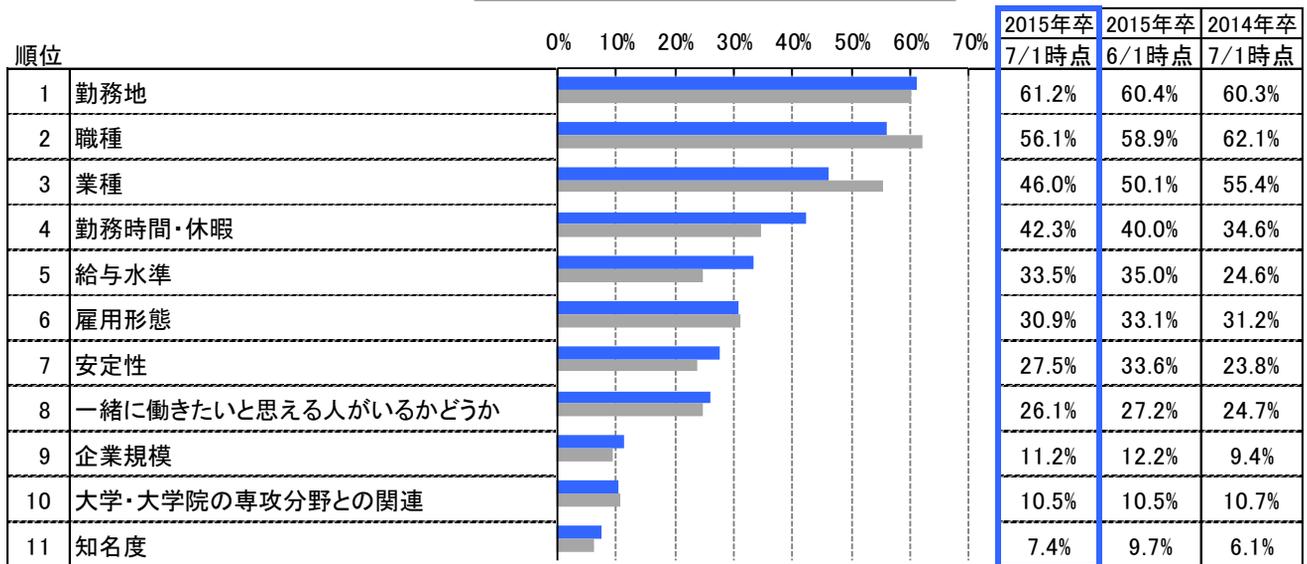
5) 志望企業等を選ぶときに重視した条件（7月1日時点）

II 学生の志向

7月1日時点で就職活動中の学生の、志望企業等を選ぶときに重視した条件は、「勤務地」「職種」が高かった。前年同月と比較すると、「給与水準」「勤務時間・休暇」が増加した一方で、「業種」「職種」が減少した。

Q. 7月1日時点で、志望企業等を選ぶときに重視した条件（就職活動実施者／複数回答）

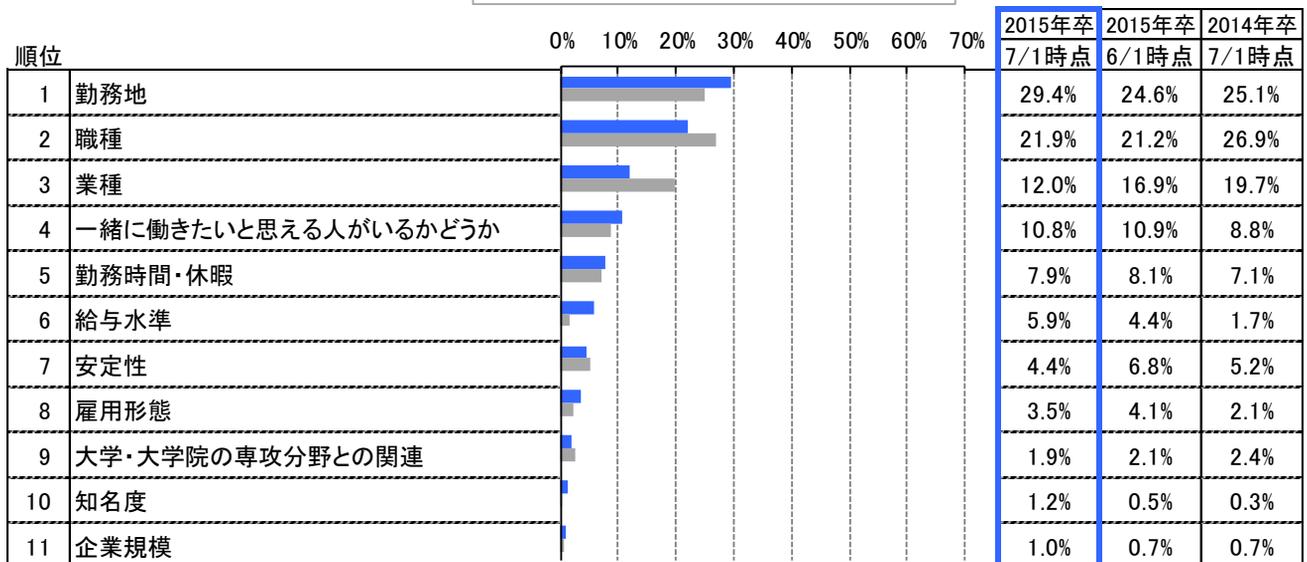
■ 2015年卒 7/1時点 ■ 2014年卒 7/1時点



7月1日時点で就職活動中の学生の、志望企業等を選ぶときに最も重視した条件は、「勤務地」「職種」が高かった。前年同月と比較すると、「勤務地」「給与水準」が増加し、「業種」「職種」が減少した。

Q. 7月1日時点で、志望企業等を選ぶときに最も重視した条件（就職活動実施者／最も重視）

■ 2015年卒 7/1時点 ■ 2014年卒 7/1時点



6) 就職先を選んだときに重視した条件（7月1日時点）

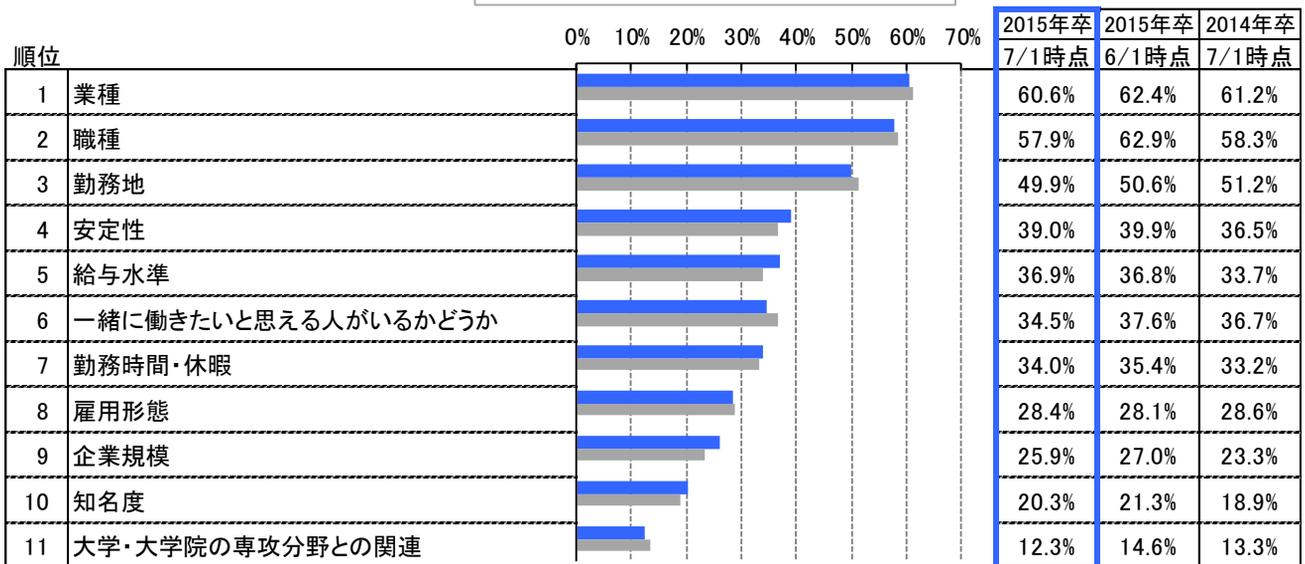
Ⅱ 学生の志向

7月1日時点で就職先が確定している学生において、就職先を選んだときに重視した条件は、「業種」「職種」が高かった。

前年同月と比較すると、多少増減がみられるものの、ほぼ同傾向であった。

Q. 就職先を選んだときに重視した条件（就職先確定者／複数回答）

■ 2015年卒 7/1時点 ■ 2014年卒 7/1時点

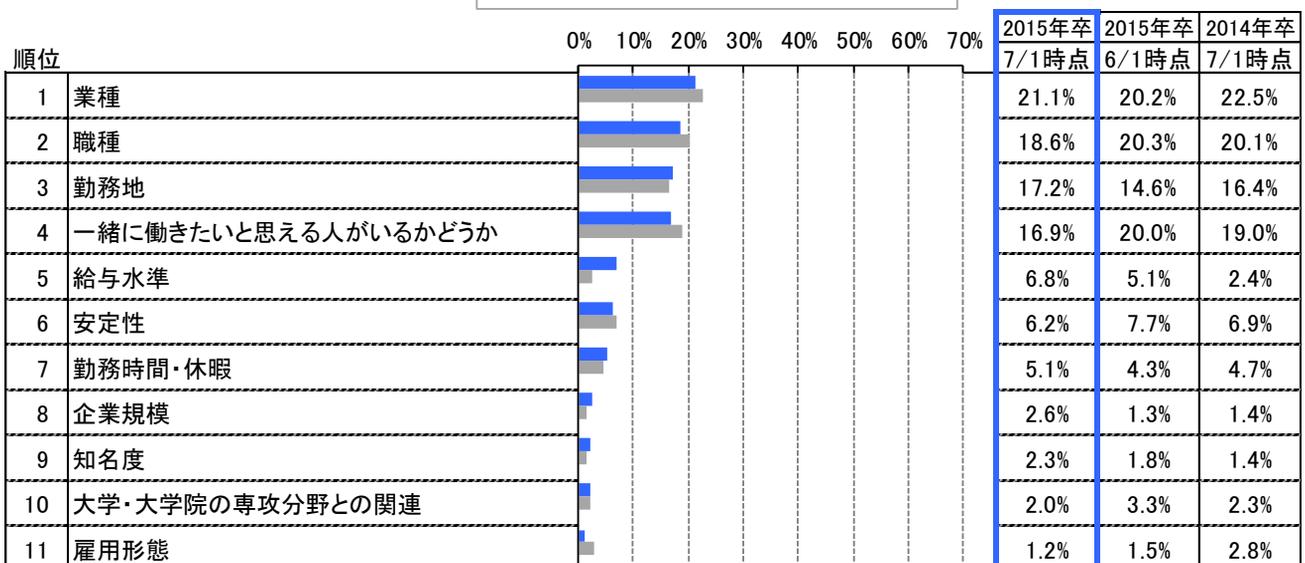


7月1日時点で就職先が確定している学生において、就職先を選んだときに最も重視した条件は、「業種」「職種」「勤務地」「一緒に働きたいと思える人がいるかどうか」が高かった。

前年同月と比較すると、「給与水準」が増加した。

Q. 就職先を選んだときに最も重視した条件（就職先確定者／最も重視）

■ 2015年卒 7/1時点 ■ 2014年卒 7/1時点



卒業後の進路や就職活動などについて感じていること、考えていること -1

Ⅲ 学生の声

コメント	学校種別	文理	地域
民間の就職は内定をもらったので終わらせました。今は公務員の面接も始まっているのでがんばろうと思っています。今年は周りも早めに決まっていたので、特に民間企業はどの会社も多く内定を出したのかなと思いました。	大学	文系	北海道・東北
志望度の高いところから内定を頂いたが、いざ頂くとやはり悩む。どこから内定が出て悩むものだった。	大学	文系	関東
暑くなってきたので、スーツのジャケットを羽織るのが辛い。	大学	文系	関東
最初に志望し続ていた業界に行く見通しが立たなくなって、初めて本当の意味での就職活動が始まった気がしている。もっと早い時期から幅広い業界に目を通したりしておくべきだった。	大学	文系	関東
内定を辞退した事が失敗だと感じる。	大学	理系	関東
就職活動をするうちに、やりたいことと好きなことが一致していないことに気づいた。理屈ではなく自分に合っていて、好きなことは何かという根本的なことを考え直して、色々な分野に調べを広げた方がいいかもと思った。	大学	理系	関東
民間企業の採用枠が拡大しているからか、国家公務員の志望者が昨年より減少しているように思う。	大学	文系	関東
大学の授業や卒業論文と帰省しての就職活動のバランスがうまくいかず、6月はどちらも中途半端になってしまった。	大学	文系	関東
企業の規模など気にせずに、入社後のことを考えた就職活動を行うことが必要だと改めて感じた。	大学	文系	関東
内定がないまま7月を迎え、これからどうしようか考えている。	大学	文系	関東
面接などで社会人と実際に話す機会を得て、尊敬できそうだと思う人もいればそうでもない人もいて、いろんな人がいるのだと改めて思った。	大学	文系	関東
内々定を受けたが、その会社の社風にあっているか不安を覚えてきた。内定者懇親会にも参加したが、一緒にやっていけるか不安である。	大学	理系	関東
就職活動が売り手市場という話題を耳にしますが、その通り採用枠は多く感じました。	大学	理系	関東
持ち駒が無くなって焦って自分自身で精神的に追い込んでしまい、一時就活を休んだが、おかげで気持ちに少し余裕ができて、また頑張れる気がしてきました。	大学	理系	関東
就職活動を続ける事での卒業研究への準備の遅れについて不安を感じている。	大学	理系	関東
後悔しないかが心配。内定辞退は本当に心苦しい。	大学	文系	関東
夏になると自分たちが知っている所は少なくなるので、中小を考えるがなかなか情報も出てこないところがあるので難しく感じる。	大学	文系	関東
卒業研究に時間を取られてしまい、就職活動を満足に行えない。	大学	理系	関東
官公庁の試験時期が遅い一方で、周りで内定が次々決まるので、焦りがある。	大学	文系	関東
学生が就職したい業種が偏っているので厳しさは氷河期と変わらないと思う。	大学	文系	関東
景気が回復していると言われているが、就職活動はなかなかうまくいかない。	大学	文系	関東
今は、面接試験・筆記試験などに力を入れて頑張りたい。	大学	文系	関東
内定を貰うことができず、焦りを感じている。	大学	理系	関東
決めた会社が本当に自分にあっているのか、何年も働いていけるのか不安。	大学	文系	関東
周りが内定を取っていくに連れて焦りも出てくるが、周りに流されず自分らしく活動することが大事であると考えている。	大学	文系	中部
就職活動を続けてきて終わりが見えてこない毎日でしたが、粘り続けて働きたい会社に出会いました。納得できるまで就職活動を続けてきて本当に良かったです。	大学	文系	中部
これからどんな進路に進んでいくのか全く見当がつかず不安である。また、職場での人間関係をうまく築けるのかなどの不安要素も大きい。	大学	文系	中部
内定を取得しても本当にこの企業でいいのかを考えるようになり、悩みは尽きない。	大学	文系	近畿

一部抜粋。文章は原則として、原文そのまま掲載しています。(明らかな誤字・脱字のみ修正)

卒業後の進路や就職活動などについて感じていること、考えていること -2

Ⅲ 学生の声

コメント	学校種別	文理	地域
公務員の選考の時期と卒業研究の発表の時期が近く、大変です。	大学	理系	近畿
思っていたよりも就職活動は難しく、難航している。	大学	文系	近畿
交通費がかかる。就活と授業の両立が大変。	大学	文系	近畿
就職活動を始めて中小企業に魅力を感じるようになった	大学	文系	近畿
学校との両立が大変。卒論もあり、就職活動を休まざるを得ない状況です。	大学	理系	近畿
業種が働きたい内容のものなのかわからなくなってしまう、自己分析の不安がでてきた。	大学	理系	近畿
就職活動を通して、希望の仕事について働くこと以外の夢を見つけた。しかし、そのせいで面接などで上手く気持ちを伝えることができずにいて、入社意欲が低いと思われるのかもしれない。	大学	理系	中国・四国
中小企業はなかなか、出会うのが難しい。	大学	文系	中国・四国
面接対策が大変。	大学	理系	九州
就職活動が長引くと、卒業研究の時間が取れない。	大学	理系	九州
ゼミと教育実習との両立が難しい。また、ゼミや教育実習を通し、志望企業、業界が変わっていき、結局将来何をしたいのかわからない現状です。	大学	理系	九州
採用活動をしている企業が少なくなってきたこと、自身のモチベーションが下がってきていることからより一層厳しくなると考えています。	大学院	理系	北海道・東北
就職活動を今後も続けるべきかどうか。続けた場合に内定した会社を辞退するか、希望した会社につけるか、不安が多い。	大学院	理系	北海道・東北
最初志望していた業界と全く異なる会社に行くことになって不思議。	大学院	理系	関東
内定をいただくことができたが、このまま就職活動を続けるべきか、社会人の準備に集中するかで悩んでいる。	大学院	理系	関東
研究職は採用数が少なく大変だと思いました。	大学院	理系	関東
選考結果をもっと早く教えてほしい。	大学院	文系	関東
内定をもらう前はすごく不安な気持ちでいっぱいだったが、内定をもらった後も「これでいいのか」と不安な気持ちになった。	大学院	理系	近畿
相談する相手が少ないので不安に思っていることが解消出来ず、いつまでも残っているため困っている。また就職活動での面接や書類、課題などに時間を取られてしまい、大学での制作や論文との両立ができていない状況を解消したいと思っています。	大学院	文系	中国・四国
面接で自分を売り込むことが苦手。一番の改善点だと考える。	大学院	理系	中国・四国
周りの人が就職活動を終了する中、悩みながらも今まで就職活動を続けてきて、自分がやりたいことに真剣に向き合い、方向が見えてきたので、良かったと思っている。	大学院	理系	中国・四国
もっと早い時期から本気で取り組むべきだと感じた。	大学院	理系	九州

一部抜粋。文章は原則として、原文そのまま掲載しています。(明らかな誤字・脱字のみ修正)